

岩事研広報

No.214

編集・発行

岩手県公立小中学校

事務職員研究協議会

総務部

令和4年7月28日

ごあいさつ

岩手県公立小中学校事務職員研究協議会

会長 下村 隆



日頃より県事務研の活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。
令和4年度の県役員体制と役割分担も決定し、ご承認いただいた事業計画に基づいて本会の目的達成に向けて活動を推進して参りますのでよろしくお願いたします。

さて、令和元年度末から続いている新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学校では感染防止対策を講じながらも、子ども達に最善の教育機会を与えるために工夫して教育課程を実施することが常態となり、先行きを見通せない状況が続いています。

また、事務研活動においても、私たちがこれまで形づくってきた研究・研修スタイルを継承・発展させるためにも大胆な工夫が必要であり、明確な突破口を見出せない状況です。

このような情勢の中ではありますが、感染防止対策を十分に講じた上で徐々に社会活動を再開させようという動きが見え始めて来ています。

学校においても「令和の日本型学校教育」の構築に向けた新学習指導要領の確実な実施やGIGAスクール構想に伴うICT活用の充実、教育の多様化への対応等、山積している課題と向き合い、新たな教育形態を模索しながら教育活動を推進しています。

そして、学校で唯一の教育行政職員である私たち学校事務職員には、教育活動を支えるために、マネジメント意識を持って学校経営に参画する役割が求められています。その職責を果たしていくために「次世代の学校づくりを担う学校事務職員」として成長し続けることが重要となることから「いわてのグランドデザインで定義した目指す学校事務職員の姿の具現化」と「いわてのグランドデザインを深化させるための具体的アクション」が予測困難な時代を乗り越えていくためのキーポイントとなると考えています。

今年度は、第3回岩手県公立小中学校事務全体研修会開催と第24回東北地区公立小中学校事務研究大会福島大会分科会発表を予定していますので、皆様の積極的なご参加をいただき、研修と研究を深めて参ります。

過去に思いを馳せても立ち戻ることはできません。これまでの研究成果を継承しつつ、時代の潮流に惑わされない研究理念を持った「岩手の学校事務」を一丸となって創造していきましょう。

最後になりますが、県事務研の活動が私たち岩手の学校事務職員の学びと成長の場となるよう、県役員一同、事業推進して参りますので、皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

令和4年度 総会

令和4年度の総会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面表決となりました。令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画等を承認いただいております。

第1回支部代表者会 期日：令和4年6月17日(金) 会場：矢巾町公民館

6月17日に行われた支部代表者会では、各部より事業説明を行いました。特に、本年度の第3回全体研修会は可能な限り参集にて開催すること、第24回東北地区公立小中学校事務研究大会福島大会は参集型での開催予定のため発表支部を中心に多くの人に参加してほしいこと等について説明いたしました。また、2年後に迫った第25回東北地区公立小中学校事務研究大会岩手大会の準備状況、ならびに当協議会からもワーキンググループに参加している「統合型校務支援システム」の概要と進捗状況について報告しました。



情報交流では、各支部活動の概要について事前に作成いただいた資料をもとに、教育委員会や校長会、共同実施組織との連携した取組を主に紹介していただきました。各支部の研究テーマや主な取組は次のとおりです。

- (盛岡)「学校事務職員の職務確立をめざして」ーいわてのグランドデザインを軸にしてー
- (岩手)学校の役に立つ事務職員になるための研究に取り組む
- (紫波)「事務をつかさどる」を具現化する事務実践、事務改善を目指して
～町単位の課題解決から学校経営参画と人材育成(OJT)について考える～
- (花巻)「地域とともに歩む学校教育をめざし、学校事務を継承・発展させよう」
- (和賀)(1)学校全体の事務機能を組織的に向上させるための人材育成と協働体制のあり方を探る。
(2)共同実施組織と連携し、学校事務における課題解決及び業務改善を図る。
(3)これまでの研究実践の成果を継承し発展させる方策を探る。
- (遠野)業務改善(学校事務の各種システムを構築し、活用と定着による標準化をめざす)
- (胆江)子どもの豊かな育ちを支援する学校事務の実現をめざして(予定)
～子どもの笑顔があふれる学校づくり～
- (一関)いわてのグランドデザイン ～みんながやってる実効策～
- (気仙)「気仙の私たちが考える事務職員の将来像とは」
- (釜石)「できる!財務マネジメント」～4つの視点から変える学校事務～
- (下閉伊)創造しよう、学校経営における学校事務を
学校経営における事務職員の参画の在り方と実践
- (九戸)業務支援について ～業務支援マニュアルの作成～
- (二戸)学校事務経営計画の策定と活用

第24回東北地区公立小中学校事務研究大会福島大会

今年度は東北地区公立小中学校事務研究大会福島大会（兼福島県公立小中学校事務研究大会）が開催される予定です。本県からは、昨年度の県研究大会で発表した盛岡支部・岩手支部・胆江支部が分科会発表を行います。二次案内等は各支部を通じて都度お知らせします。

開催期日 令和4年10月6日（木）・7日（金）

主催 第24回東北地区公立小中学校事務研究大会実行委員会
東北地区公立小中学校事務職員研究協議会

会場 郡山ユラックス熱海（主会場） 福島県郡山市熱海町熱海二丁目148-2
ほっとあたみ（分科会会場） 福島県郡山市熱海町熱海二丁目15-1
ホテル華の湯（分科会会場） 福島県郡山市熱海町熱海五丁目8-60

分科会発表 ◎第1分科会B

（岩手県） 深化する「いわてのグランドデザイン」
～チャレンジし続ける事務研活動の取組～

（県事務研 研究部長 高瀬 史明さん、岩手支部・畠山 諒也さん、盛岡支部・晴山 俊太さん）

◎第5分科会

子どもの豊かな育ちを支援する学校事務の実現を目指して
—えがおプラン 2020～2022の取組から—

（胆江支部・小林 輝之進さん、長岡 由佳理さん）

岩手県公立小中学校事務職員研究協議会 理事・役員紹介（敬称略）

（1）総務部理事

会議担当	晴山 俊太（飯岡小学校）	伊藤 夕里（西山小学校）
	田面山 沙希（紫波第三中学校）	
資料センター	上路 克彦（仁王小学校）	
広報担当	佐藤 美加（興田小学校）	小泉 純弥（猿沢小学校）

（2）研修部理事

盛岡	宇部 憲子（見前中学校）	
岩手	有原 宏信（滝沢小学校）	
紫波	佐藤 哲司（紫波第一中学校）	
花巻	橋爪 絢泉（花巻北中学校）	
和賀	高橋 修一（江釣子小学校）	
遠野	高屋敷 建斗（青笹小学校）	
胆江	高橋 美晶（胆沢第一小学校）	
一関	橋本 淳（巖美中学校）	
気仙	川畑 萌（東朋中学校）	
釜石	三浦 道徳（吉里吉里小学校）	
下閉伊	柏崎 友介（花輪中学校）	
九戸	竹田 悠馬（宿戸小学校）	
二戸	佐藤 匡（奥中山小学校）	



(3) 研究部理事

氏 家 辰 徳 (大宮中学校)
畠 山 諒 也 (滝沢中学校)
門 屋 剛 (真城小学校)

(4) 東北事務研究大会研究推進委員

谷 地 伸 啓 (仙北中学校)
晴 山 俊 太 (飯岡小学校)
畠 山 諒 也 (滝沢中学校)
山 形 洸 太 (葛巻中学校)
小 林 輝之進 (衣川中学校)
長 岡 由佳理 (衣里小学校)



(5) 令和4年度 県役員

役 職	担 当	氏 名	支 部	勤 務 校
会 長		下 村 隆	二 戸	軽米町立軽米中学校
副 会 長	研修総括	石 川 力 行	岩 手	岩手町立沼宮内小学校
副 会 長	総務総括	林 佳奈子	盛 岡	盛岡市立青山小学校
副 会 長	研究総括	清水辺 誠	花 巻	花巻市立花巻小学校
常任理事	総務部長	長 坂 征 子	紫 波	矢巾町立矢巾東小学校
常任理事	総務部財務担当	八重樫 綾 子	遠 野	遠野市立遠野小学校
常任理事	総務部広報担当	熊 谷 春 那	一 関	一関市立大原小学校
常任理事	研修部長	佐 藤 謙 一	盛 岡	盛岡市立大新小学校
常任理事	研修部運営担当	藤 森 備 子	岩 手	滝沢市立鶴飼小学校
常任理事	研修部財務担当	寺 下 賢 希	下閉伊	宮古市立山口小学校
常任理事	研究部長	高 瀬 史 明	盛 岡	盛岡市立黒石野中学校
常任理事	研究部東北大会担当	横 澤 良 二	九 戸	普代村立普代小学校
常任理事	研究部調査担当	市 村 紗小里	釜 石	釜石市立釜石中学校
監 事		平 賀 智 弥	和 賀	北上市立南小学校
監 事		高 橋 章	胆 江	奥州市立江刺愛宕小学校
監 事		中 平 貴 士	気 仙	大船渡市立盛小学校

※顧問 菅原 信 (花巻市立西南中学校・岩手県公立小中学校事務職員研究協議会 前会長)
※全国公立小中学校事務職員研究会会長 阿部 貴子 (盛岡市立見前南中学校)

☆編集後記☆

今年度は9月の第3回全体研修会の開催に加え、東北大会福島大会での分科会発表と、ようやく参集での開催が本格的に再開する予定となっています。コロナ禍で張りつめた日々ではございますが、会員の皆様にお会いできるよう開催の準備を進めております。皆様も体調に気を付けてお過ごしください。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。次号以降もどうぞお楽しみに。